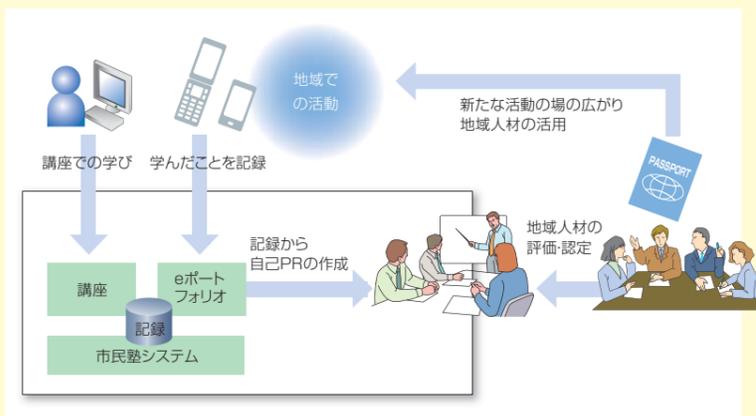


富山インターネット市民塾

- 代表者／富山インターネット市民塾推進協議会理事長 山西 潤一
- 設立／平成11年4月(前身のインターネット市民塾実証実験共同プロジェクト発足)
- 所在地／富山市牛島新町5-5 タワー111ビル3階
http://toyama.shiminjuku.com/

13年にわたり、市民が主役の生涯学習を目指し活動している富山インターネット市民塾。富山県内の産学官の協働のもと、インターネット上で誰もが講座やサークルを開催でき、そこに集う利用者同士がともに教えあい学びあえる場を「市民塾」と名づけ、さまざまな支援活動を行っています。地域の伝統文化や趣味などの教養を深める講座に加え、ビジネスに役立つ働き盛りを応援する講座、学んだことを活かし地域活動に参加する講座など、市民が主に講師を務める約90講座を開講し、幅広い世代、地域にわたって7,000名以上が登録しています。



学びと人材の「見える化」を目指して

富山インターネット市民塾では、地域のさまざまな活動と連動する講座や、働き盛りの年代の方の活動の場を広げる講座が開講されています。

地域の活動に貢献する人材として、活躍する場を広げるためには、公民館や学習・文化施設など地域の活動を担う組織に対し、個々の人材がどのような役割が担えるのか、また、地域の中で何を目指し、活動したいのかを自己PRとしてわかりやすく伝える手段が必要です。市民塾では、学びの記録、資格などの実績や経歴を、講座や活動を通してシステムに蓄え、蓄えた記録をもとに、自己PRをつくる。そうした学びの記録の蓄積と活用ができるシステム(eポートフォリオ)の利用者への提供を、目指していました。

いつでもどこでも記録できる環境と、学びと人材の「見える化」を実現

インテックでは2009年より「eポートフォリオ」の研究・開発に取り組み、富山県内の大学を中心に、納入してきました。また、長年にわたり市民塾の学習システムの開発にも携わっていたことから、学習システムの記録も統合し、いつでもどこでも記録でき、記録から学びと人材の「見える化」を実現する「eポートフォリオ」の提案を行いました。

富山インターネット市民塾

「eポートフォリオ」で学びと人材の「見える化」を実現し、人材が活躍できる場の開拓を進める

自分たちが持つさまざまな知識や経験を地域の中でいかしたい人たちと、地域活動を担う有能な人材を求めているグループ、組織をマッチングさせる仕組みを構想する富山インターネット市民塾。インテックが開発した、学びと人材の「見える化」を実現する「eポートフォリオ」で新たな地域実験に取り組んでいる。

お客さまの声



富山インターネット市民塾
推進協議会理事長
山西 潤一氏

インターネットを活用した学びの場、日常の知恵や経験を伝えあうコミュニティとして富山インターネット市民塾が作られました。昔の長屋や寺子屋文化にも似たインフォーマルな形の知の伝承が、ここに参画する多くの方々から学び、教える喜び、共に活動する喜びをもたらしています。今回、インテックに協力いただき、この学びの場に「eポートフォリオ」という新たな仕組みを造りました。学びの成果を可視化し、地域人材としての活躍の場を広げようとする試みです。私たちが目指す地域の絆づくりとコミュニティの活性化に、これからもインテックの力強いご支援を期待しています。

学びが起きたその時、その場で記録できること、記録をとることに負担を感じず、手軽に楽しく継続的に記録してもらえよう、日々の心持ちや意欲をモチベーションとして、グラフに継続的に入力することなどで、学びや活動を記録するきっかけ作りや、継続した変化を追求するようにしました。学びと人材の「見える化」を実現するために、「eポートフォリオ」に蓄積された学びや活動の記録、実績から、これまでの学びや成果、これからの目標をまとめ、自己PRの作成と公開を支援する機能を開発しました。自己PRの作成方法として採用したのが、ストーリーテリングとよばれる方法です。蓄積された記録、実績から、自己PRに役立つ記録を引用し、記録を客観的事実として学びや活動の成果、将来の目標をまとめることができます。作成した自己PRは、プレゼンテーション形式で表示することが可能です。

さらなる改善と拡張を目指して
地域実験を通して、操作方法のマスターや、多くの記録を読み返すことに時間や手間がかかり、限られた時間の中で十分な自己PRを書くことができななどの課題も把握できました。記録の文脈解析などの技術を積極的に取り入れ、わかりやすく効率的に自己PRができるよう開発していきます。

富山インターネット市民塾では、地域で活躍する人材として、富山県内の地域活動を担う組織にも認められるよう、自己PRの内容をもとに、地域の活動を担う地域人材として公的に認定する組織の設立に加わっています。認定された人材には、地域eパスポートを発行し、公民館や学習・文

地域人材の活躍の場を広げる取り組み

これからも継続して、地域の活動を通して学んだことを随時、自己PRに反映させていきたい、という利用者からの声も寄せられています。学びに対する意欲を持った人たちが、知識や経験をもとに地域の中で活躍の場が広がるよう、学びと人材の「見える化」を「eポートフォリオ」で実現していきます。